

ワールドステイクラブの企画 2023年開運 新年山の手 七福神めぐり

企画委員会



コロナ禍を吹き飛ばす願いを込めて、新年恒例の七福神めぐりをしました。起点は神楽坂毘沙門天です。新春の華やいだ街並みを、ワールドステイクラブの面々が上がり口の歌舞伎町鬼王神社へ練り歩きました。

江戸半ばころまだ神仏習合の時代に、七福神めぐりは始まったそうです。天竺、唐、日本の神様の総揃いで、徳川幕府の知患者南海坊天海が仕掛け人ということです。江戸で一番古い七福神めぐりは、目黒から白銀への元祖山手七福神です。今回のめぐりは、初春は特に賑やかな神楽坂から、新春の賑やかな歌舞伎町へと、都心ど真ん中から繁華街ど真ん中への人気のコースを味わいました。

今回の山の手七福神めぐりの地域には、歴史史跡特に文芸人の旧居などが多くありました。こちらにも途中寄り道をして、当時に思いをはせながら歴史散策もしました。



日時：2023年1月7日（土）午後半日
時間：集合 神楽坂 13時30分～
 解散 歌舞伎町 16時10分
順路 集合→【毘沙門天】→牛込神楽坂→
 牛込柳町→【経王寺】→牛込神楽坂⇒若松河田→
 【巖島神社】→【法善寺】→【永福寺】→
 【稻荷鬼王神社】→【花園神社】→解散
距離 6km 歩数 1万歩
参加者 21名
 Y氏（特別参加；懇話会講師）
懇親会 伊勢丹会館内 有志にて

新宿山の手七福神めぐり

新宿観光案内所のおすすめコースを辿りました。

■場所；神楽坂

◎善国寺 毘沙門天（インドの神）ヒンドゥー教で財宝を司る神「クペーラ」
 宗派；日蓮宗
 創建；1595（文禄4）年
 本尊；毘沙門天（区指定有形文化財）



ご利益；商売繁盛、勝運、開運厄除

■場所；牛込柳町

◎経王寺
 大黒天（インドの神）創造と破壊を司るシヴァ神
 宗派；日蓮宗
 創建；1598（慶長3）年
 本尊；大黒天（区指定有形文化財）



■場所；余丁町

◎巖島神社（抜弁天）
 弁財天（インドの神）ヒンドゥー教の水と豊穡を司る女神「サラスヴァティー」

宗派；神道
本尊；弁財天
ご利益；金運、縁結び、芸事
上達、



◎法善寺

寿老人（中国の神）道教の神で南極星の化身、福祿寿
とは双子とも同一人物

宗派；日蓮宗

本尊；七面明神像（彩色、
区指定文化財）

ご利益；長寿



◎永福寺

福祿寿（中国の神）道教の
神。三徳と呼ばれる子孫繁
栄、財産、健康長寿を司る
宗派；曹洞宗

創建；1648（慶安元）年

本尊 銅造大日如来坐像（区
指定有形文化財）銅造地蔵菩薩半跏像（区指定有形文
化財）

ご利益；長寿



■場所；新宿歌舞伎町

◎稲荷鬼王神社

恵比寿神（日本の神）国造り
の神、イザナギノミコトとイ
ザナミノミコトの子

宗派；鬼王権現

本尊；恵比寿神

ご利益；漁業の守護、商売繁盛、開運



◎花園神社（番外）

新宿の総鎮守

ご祭神は、倉稲魂神、日
本武尊、受持神の3柱の神
さまです。酉の市が有名で、
開運出世、財福将来がご利益です。



境内にある末社の「芸能浅間神社」では、周りに芸
能人の名前が書かれた札がたくさんあります。二宮尊
徳の像もあり、なんとも個性が豊かです。

【次の機会に・・・】お楽しみに残しました

◎太宗寺 布袋尊（中国の禅僧）

弥勒菩薩の化身で開運を司る

宗派；浄土宗

創建；1596（慶長元）年

本尊；阿弥陀如来、閻魔大王、
塩かけ地蔵

地蔵菩薩像；江戸六地蔵の第三番



【歴史散策】番外編 七福神めぐりでの出会いです。

■神楽坂

・田原屋跡 2階がフランス料理 夏目漱石、菊池寛、
永井荷風などが御用達

・地蔵坂 坂の中途に落語が演目の和良店亭があり、
夏目漱石がお気に入りだった。

・相馬屋 尾崎紅葉の助言で洋紙の原稿用紙を売り出
し、夏目漱石、北原白秋、石川啄木、坪内逍遙が愛用
した。

・紅屋跡 中山晋平、野口雨情のコンビの歌「紅屋の
娘」に出てくる。佐藤千夜子が唄って流行った。女学
生に人気のしゃれた喫茶店だった。

・安養寺 天台宗で江戸三十三観音霊場 16 番札所。
江戸時代、ここで歌舞伎興行があった。

■牛込柳町 その方向を見て偲びました。

・法身寺 「汽笛一声新橋を・・・」の鐵道唱歌で有
名な大和田健樹終焉の地。

・有島武郎旧居跡 白樺派の中心で、「或る女」、「生
まれ出づる悩み」など本格的なリアリズム作風だった。

・試衛館跡 新選組近藤勇の道場

・甲良町 田山花袋が住んでいて、この付近の様子は
「東京の三十年」に詳しい。

・草間彌生美術館 前衛芸術家で、ここで作品に展示
されている。予約を取りにくいので、有名。

■河田町

・小笠原伯爵邸 スペイン風
で、現在はレストラン。東京
都選定歴史的建造物。



■余丁町 その方向を見て
偲びました。

・犬屋敷跡 犬公方綱吉により犬を保護した屋敷。江
戸に三か所あった内の一つ。現在の警視庁第8機動隊
と余丁町小学校の場所。

・坪内逍遙旧居跡 シェイクスピア作品すべてを、日
本語訳にした。文芸協会演劇研究所で舞台があった。

・永井荷風旧居跡 住まいを断腸亭と名付けていた。
随筆、翻訳など多岐にわたる活躍をしていた。

・小泉八雲旧居跡 日本の民話や伝説を題材にした作

品を編み出した。

■東新宿

・山野愛子旧宅 日本の美容界
第一人者の住居で、現在和食を
提供するお店になっていた。



【地下鉄大江戸線】番外編



東京都内の地下鉄として、一番遅くに開業しました。
今回のめぐりで乗降しましたが、七福神めぐりの七に
かけて、特徴七つを並べてみます。

第一、山の手線の内側を環状に結び、都内東側の隅
田川を越えた下町も結んでいます。都心から放射状に
延びる既存の鉄道との乗り換えが、便利です。

第二、既設の地下鉄の下や間を縫うように上下左右
にくねるようにトンネルが掘られています。最前部に
陣取って、運転席越しの観察で実感しました。

第三、このトンネルの断面が小ぶりなことを、実感
しました。工事費削減に寄与しているようです。この
小ぶりのトンネルに合わせて車両も小ぶりです。

第四、車上と線路の間で、駆動力を出すリニアモー
ターで走行しています。普通、鉄道はレールの上をモ
ーターで駆動した鉄輪で走行します。大江戸線では、
鉄輪は車体を支えるだけで、駆動しません。

第五、リニアモーターなので、急勾配やきつい曲線でも難なく
走行しています。運転席越しの
前方注視で、これも実感しまし
た。



第六、駅のデザインが、その地域の成り立ちなどに
合わせてあることです。牛込神楽坂駅は、近隣の寺院
に合わせて築地塀の雰囲気でした。

第七、ホームに設置されたエレベーターの位置が、
ほぼ同じ場所にあることです。車椅子利用だけでなく、
階段での上下がきついシニアには優しくなっています。

【懇親会】有志 新宿伊勢丹会館タイ料理チャンパー

七福神めぐりの後、大勢の方が引き続き参加され、
大いに懇親を深めました。コロナ禍が解除されていな
いので、静かにしかし心の中では賑やかにです。懇話
会講師のY氏も懇親会に参加していただき、興味ある
話題のご披露がありました。

タイ料理のお店でしたので、タイビールの乾杯から
始まりました。タイカレー味のタレのかかった串焼き、
海老のすり身のコロッケ、タイ風さつま揚げ、そして
麺あれこれなどを楽しみました。楽しい会話は、タイ
旅行の思い出にもおよびました。現在も旅行制限があ
るなか、しばし、ヴァーチャルトリップ風でした。

目黒の七福神めぐりもしました

（東京都世田谷区）

お正月もあつという間に過ぎようとしている1月
10日、私を含め9人で目黒の七福神巡りをして来まし
た。WSCの七福神めぐりの時と違い、青空でしたが
北風が冷たく、寒~い一日でした。午前中に出発し、
途中昼食を挟み、午後3時ごろ達成、渋谷のホテルラ
ウンジにてケーキセットで打ち上げでした。

今年は2回七福神を巡りましたので、健康や怪我の
心配は大丈夫!!と信じたいと思います。本年もWSCが
益々発展されます事をお祈り申し上げます。

山の手七福神へ参加しました

（東京都杉並区）

今日の集合場所は神楽坂の毘沙門天前で、13時30
分の集合です。毘沙門天の前には、明治の文豪森鷗外
や夏目漱石が使用した原稿用紙の老舗相馬屋がありま
す。心配していた天気は、冬晴の気持ちのいい一日に
なりました。巖島神社の弁財天、法善寺の寿老人、経
王寺の大黒天、善国寺の毘沙門天、太宗寺の布袋尊、
稲荷鬼王神社の恵比寿神、永福寺の福祿寿の七神めぐ
りです。神社には赤いのぼりの旗を奉納している神社
がありますが、あまり気持ちのいい気分にはなりません。
何か陰の気配があります。歩いて、歩いて、商売
繁盛、開運の七福神めぐりを終え、平成四年の健康の
感謝と開運を願いました。

親睦会は、伊勢丹会館にあるタイ料理で祝杯をあげ
ました。今日の七福神めぐりでは、その場所の詳しい
説明があり一段と心に残るめぐりになりました。